

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|----|---------|--|----------------------|--------|
| シラバス年度 | 2021 | 開講キャンパス | | 宮崎キャンパス | 開設学科 | | 管理栄養学科 |
| 科目名称 [英語名称] | 応用栄養学Ⅲ [Nutritional ScienceⅢ] | | | | 実務経験 教員担当 | アクティブ ラーニング | ○ |
| 科目コード | 302800 | 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 | 配当学年 | 3年次 |
| 教員氏名 | 出口 佳奈絵 | | | | 学位授与の方針 との関連 | DP1(1) DP1(2) DP2(1) | |
| 授業概要 | <p>本科目では、時々刻々と変化する生活環境への適応、身体活動に応じた栄養代謝、栄養状態の評価・判定、そして科学的な根拠に基づいた栄養素必要量の求め方を修得することを目的とします。これまでに学習したライフステージ各期の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を幅広く理解し、説明できる力を養います。 【知識・理解の獲得】【問題解決力の育成】【多様性理解の育成】</p> | | | | | | |
| 関連する科目 | 基礎栄養学、からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、栄養教育論総論、栄養教育論各論Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | | | | | |
| 授業の進め方と方法 | 主に講義形式で教科書とパワーポイントを用いて進行します。 授業内の練習問題で理解度を確認します。 授業内でグループワークを行います。 | | | | | | |
| 授業計画 | <p>第1回 栄養ケア・マネジメント(栄養ケアプラン、モニタリング、評価) 第2回 栄養アセスメントの指標の種類と特性 第3回 栄養アセスメント①(身体計測、体組成評価) 第4回 栄養アセスメント②(結果の分析と問題点の抽出) 第5回 栄養アセスメント③(評価に基づいた改善) 栄養アセスメントの複数の指標から総合的に栄養状態の判定を行う手順について学びます。 第6回 からだのリズムと栄養 生体リズムと栄養代謝について学びます。 第7回 ストレス応答と栄養 ストレスに対する生体反応と栄養管理について学びます。 第8回 環境と栄養 特殊環境下における健康障害の予防と改善のための栄養管理について学びます。 第9回 災害時の栄養 災害時の栄養問題と栄養介入について学びます。 第10回 健康づくりのための身体活動 第11回 運動時の生理的变化 第12回 運動と栄養ケア 身体活動時の生理的特徴とエネルギー代謝変化、運動・スポーツ栄養について学びます。 第13回 ライフステージ別栄養のまとめ①(成長期) 第14回 ライフステージ別栄養のまとめ②(成人期) 第15回 ライフステージ別栄養のまとめ③(高齢期) ライフステージ各期の身体的特性と栄養ケアについてグループワークを行います。</p> | | | | | | |
| 授業の到達目標 | <p>①対象者の栄養状態を評価する基本的な考え方を理解できる。【知識・理解の獲得】 ②対象者に応じた栄養ケア・マネジメントの基本的な手法を理解できる。【問題解決力・論理的思考力の育成】 ③特殊な環境下の生理的特徴と栄養ケアを理解し、説明することができる。【多様性理解の育成】</p> | | | | | | |
| 授業時間外の学修 | <p>【予習(90分)】講義前日、次回範囲の内容について教科書を熟読し、学習しておくこと。 【復習(90分)】復習として管理栄養士国家試験の過去問題を解く習慣をつけること。 また、普段から食と健康に関する情報に興味・関心を高めておくこと。</p> | | | | | | |
| 課題に対する フィードバック | <p>・定期試験は採点結果を開示する。 ・授業内提出物は個別にコメントを返却する。</p> | | | 評価方法 | <p>①定期試験(70%) ②授業内提出物(20%) ③授業内活動(10%)</p> | | |
| テキスト | 栄養科学イラストレイテッド「応用栄養学」(羊土社) | | | | | | |
| 参考書 | 「日本人の食事摂取基準(2020年版)」厚生労働省HP 「食育白書(最新年度版)」農林水産省HP などをはじめ、公的機関や学会等の専門組織からの最新の情報を提供する。 | | | | | | |
| 備考 | 毎回の予習と復習は大切です。 | | | | | | |